

平成23年度
岡山県学力・学習状況調査

調査問題を活用した授業改善のポイント例

岡山県教育庁指導課

国

語

◆ 正答例

「わたしは、優先席を設けることに」反対「です。」
なぜなら、「いつもゆずる」「ほとんどゆずる」「人が、
七十六・七パーセントと四分の三以上もいるからです。
Y電鉄では、優先席なしでも大部分が席をゆずっている
のだから、優先席を設けるのは、こうした人たちの
良識を否定することになるのではないかと思えます。」

◆ 出題のねらい

目的に応じて資料を読み取り、根拠を明確にして自分の意見をまとめることが出来る。

◆ この問題から見える児童生徒の課題

- ① 読み取ったことを基に自分の考えをもつことができない。
- ② 自分の考えを条件に即して書くことができない。

① 自分の考えをもつために

ポイント①

課題設定の工夫

・学びがいのある魅力的な学習課題
・多様な考えが生み出される課題

- 児童生徒が自分の考えをもちたくなるようなめあての設定
- 児童生徒にめあてを納得させる導入活動の工夫。
 - めあてについての多様な考えを生み出すようなめあての質。

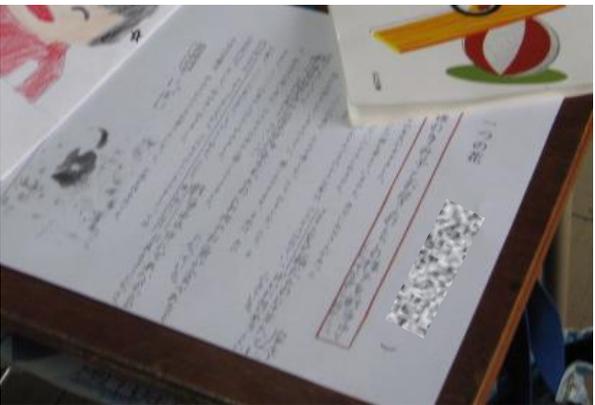
ポイント②

学習活動の工夫

ポイント③

自分の考えをもつための時間の確保

- 児童生徒が自分の考えをもち、表現しやすい学習活動の設定
- 本文にサイドラインを引く。理由を記述する。
 - 本文と資料を線で結ぶ。読み取ったことを書き込む。
 - 考えの表現のさせ方を工夫する。



自分の考えを
「伝えたい」
「教えたい」

友達の考えを
「知りたい」
「聞きたい」



①自分の考えをもつために

ポイント④

多様な考えに触れて、自分の考えを見直す。

もった考えをしつかり出し合う場の設定。

・ペア、グループ、全体

・発言の位置付け↓発言の受け止め。板書への位置付け。

焦点化した話題による話し合いの設定。

・ねらいに迫る発問。

・思考を働かせるための発問。

・話し合いを深めたり、収束に向かわせる発問。

ねらい

- ・考えがより確かになる。
- ・考えが変容する

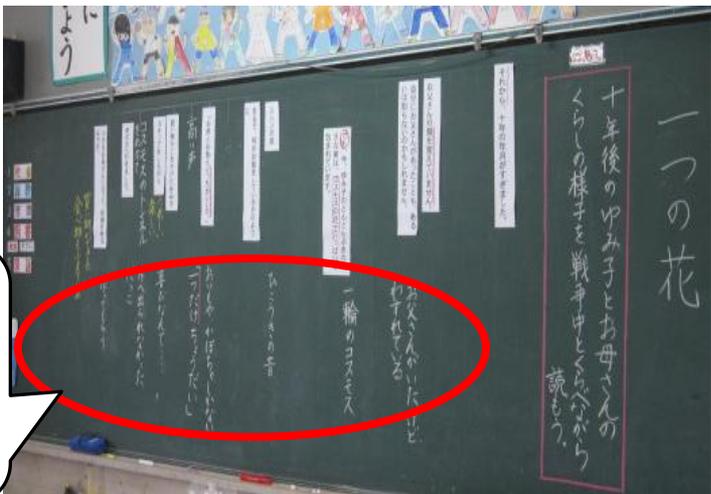
- ・自分の考えを伝える
- ・友達の考えを聞く

- ・自分の考えをもつ。
- ・自分のことばで表現する

ノート・ワークシート等
に書いた自分の考えを伝える。



子どもの
発言を位置
付ける。



②自分の考えを条件に即して書くために

ポイント⑤

学習の振り返り

「読み方」「書き方」として意識させる。

- ・何を意識させ、どう表現させれば方略的な知識につながるか。
- ・考えの変化・追加をノート等に記述。(色を変えて記入等。)

※かすみさんの意見文をモデルに意見文を書く授業を考えてみると…

ポイント①

④読み手を納得させるコツを見つけよう。

ポイント②・③

- 「コツだ」と思うところにサイドラインを引く。
- 理由を書き込む。

ポイント④

発表し合う

ポイント④

問 ぜひ、まねしたい「コツ」は？

ポイント⑤

⑤ 自分の考えをよりよく伝えるためには

○自分の立場を最初に書く。

○数値を使う。

○数値をもとに意見と対応させて自分の考えを書く。

活用する場の設定

学習した方略を活用できる学習(場)の設定。

- ・国語科で。
- ・他の教科・領域で。

小学校第三・四学年の国語「書くこと」領域の言語活動例には、次のような他教科に関連する内容があります。

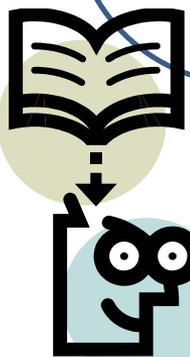
イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。

ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。

エ 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。

イ・ウは「社会科」「理科」のまとめる学習活動に、エは「総合的な学習の時間」に、それぞれ関連します。

★教科書の教材では？
★総合的な学習の時間の指導計画では？



系統性を踏まえた授業づくり

「B書く」と「言語活動例で見てみると…

小学校

第一・二学年

身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと。

第三・四学年

収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。

第五・六学年

自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章を書いたり編集したりすること。

中学校

第一学年

図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。

第二学年

多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。

第三学年

関心のある事柄について批評する文章を書くこと。

低学年の時から…

★教科書の教材では？

